

旧橋場小学校区 住民アンケート 結果から見えるポイント

2020年3月

御明神地区地域運営準備会事務局

アンケート結果から見えるポイント①（災害に対する認識）

Q. 今まで以下の災害によって被害を受けたり、身近に危険を感じたことはありますか？【複数回答】

	地震	台風 (暴風雨)	豪雨	河川の氾濫	落雷	火災	豪雪	土砂崩れ がけ崩れ	火山噴火	雪崩	竜巻	その他	被害や危険を 感じたことはない
橋場	21	15	33	29	2	6	14	5	1	2	2	0	2
安栖	18	16	20	11	2	4	4	4	1	0	1	1	0
小赤沢	7	7	18	14	1	3	3	5	4	0	0	0	1
山津田	29	20	41	18	7	3	10	11	0	1	0	0	12

➡ 一番危機感を感じている災害は**豪雨**

▼二番目に多いのは、橋場・小赤沢行政区は河川の氾濫
安栖・山津田行政区では地震

豪雨には備えておきたい

▼**橋場行政区**

H25.8.9豪雨で集落の半数以上が浸水。川の水位が変わり、町水道を導入した。
堤防を作ったが、不安を感じている。土砂崩れの可能性があるところがある。

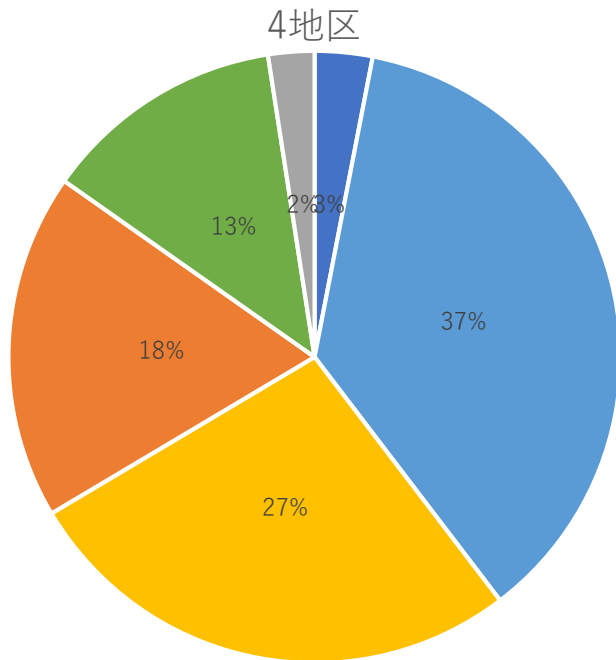
▼**小赤沢行政区**

H25.8.9豪雨で集落の3本の川があふれた。雨の日に見回りをしている人もいる。

[R2年2月26日 区長会議]

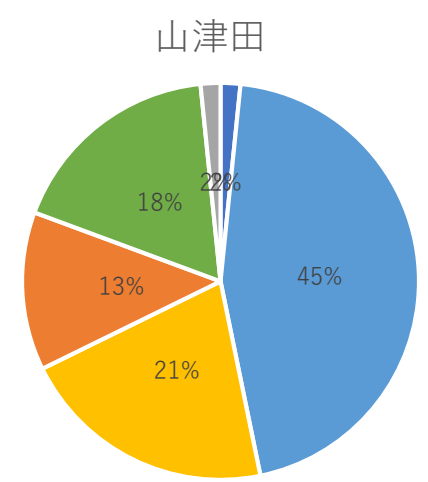
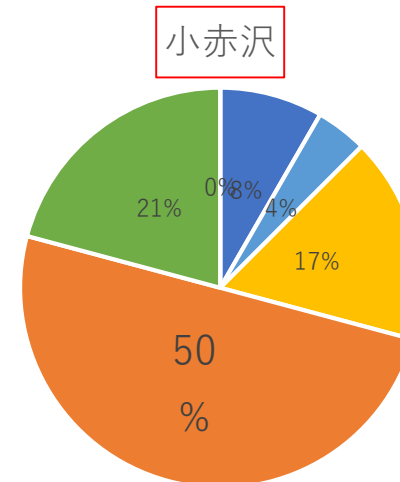
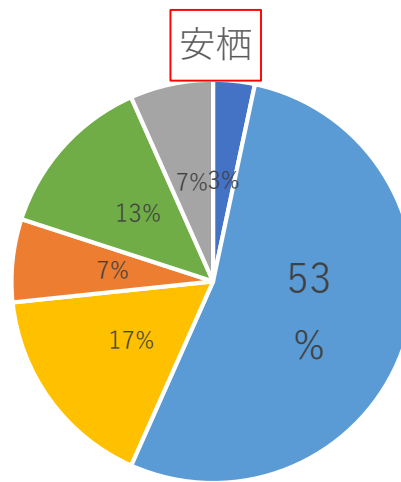
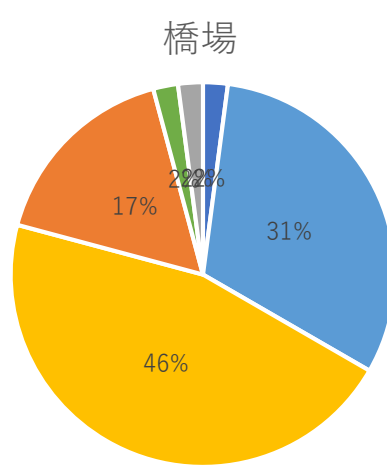
アンケート結果から見えるポイント①（災害に対する認識）

Q.あなたの住んでいる地域が災害に対し安全だと感じていますか？



- 安全
- ある程度安全
- ある程度危険
- 危険
- わからない
- 不明

行政区ごとに見ると...



- ▼小赤沢行政区は半数が危険と感じている。
- ▼安栖行政区は半数以上が安全と答えている

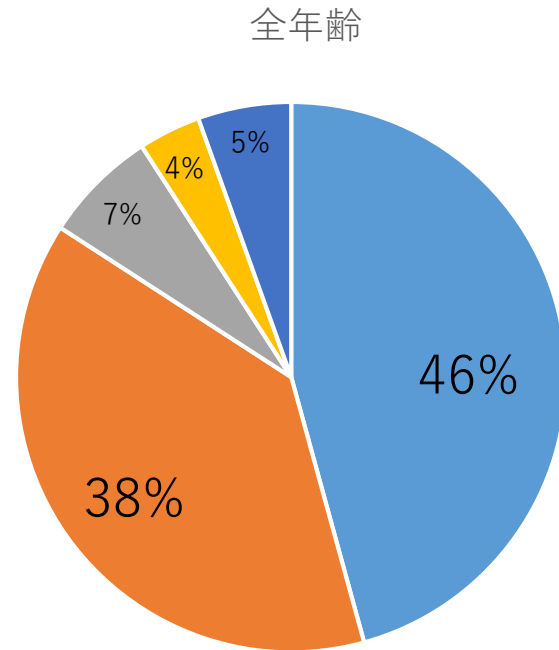
危険だと感じている地域と安全だと感じている地域がある

➡ **地域が安全かどうかの認識が違う。**

H25.8.9豪雨の経験が大きく影響している！

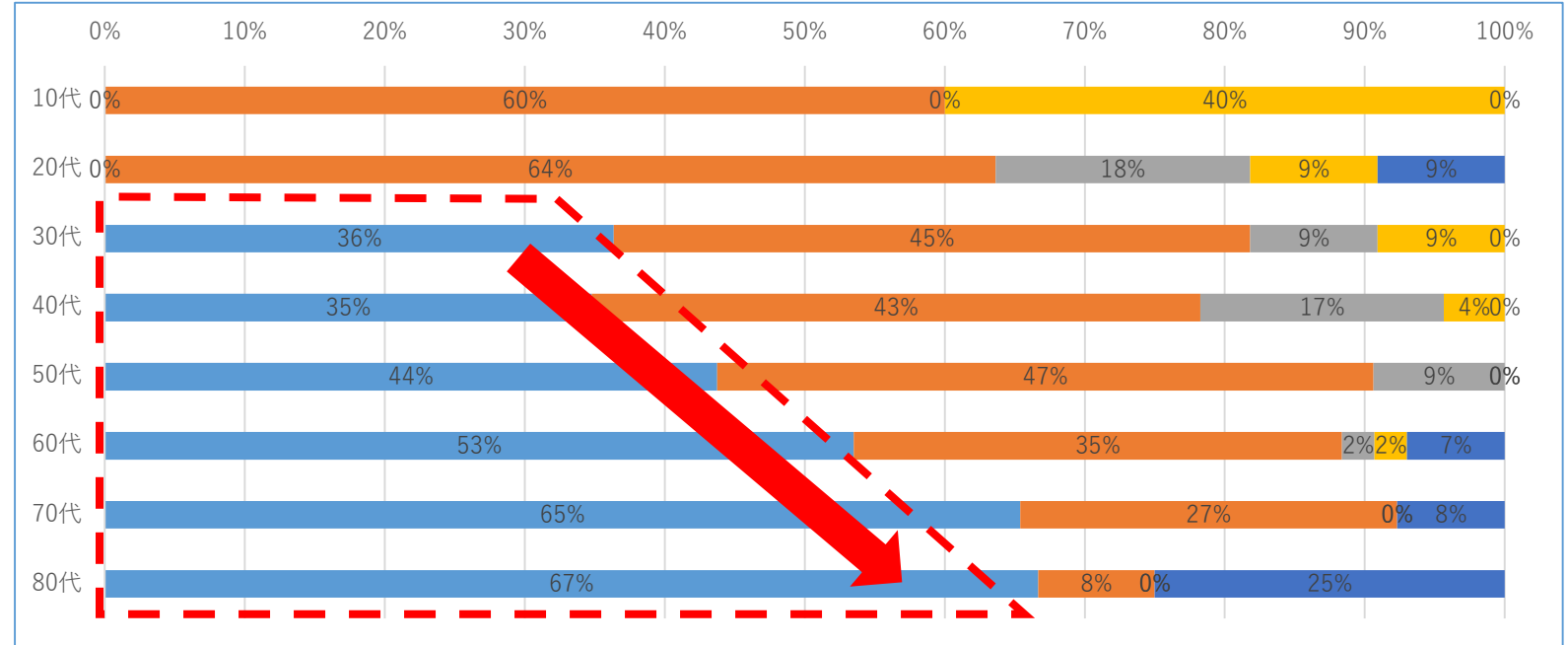
アンケート結果から見えるポイント②（災害への備え）

Q.災害時には隣近所の助けが必要になる場合がありますが、あなたは隣近所の方について、どの程度知っていますか。



- 普段から近所付き合いをしている
- 顔を見ればわかる
- 名前だけは知っている
- まったく知らない
- 未回答

年齢別回答割合



▼ 普段から近所付き合いをしている、顔を見ればわかるの回答を合わせると84%

➡ この地区は顔見知りが多い！

▼ 普段から近所付き合いをしている割合は
30代は36%、40代は35%、50代は44%、60代は53%、70代は65%、80代は67%

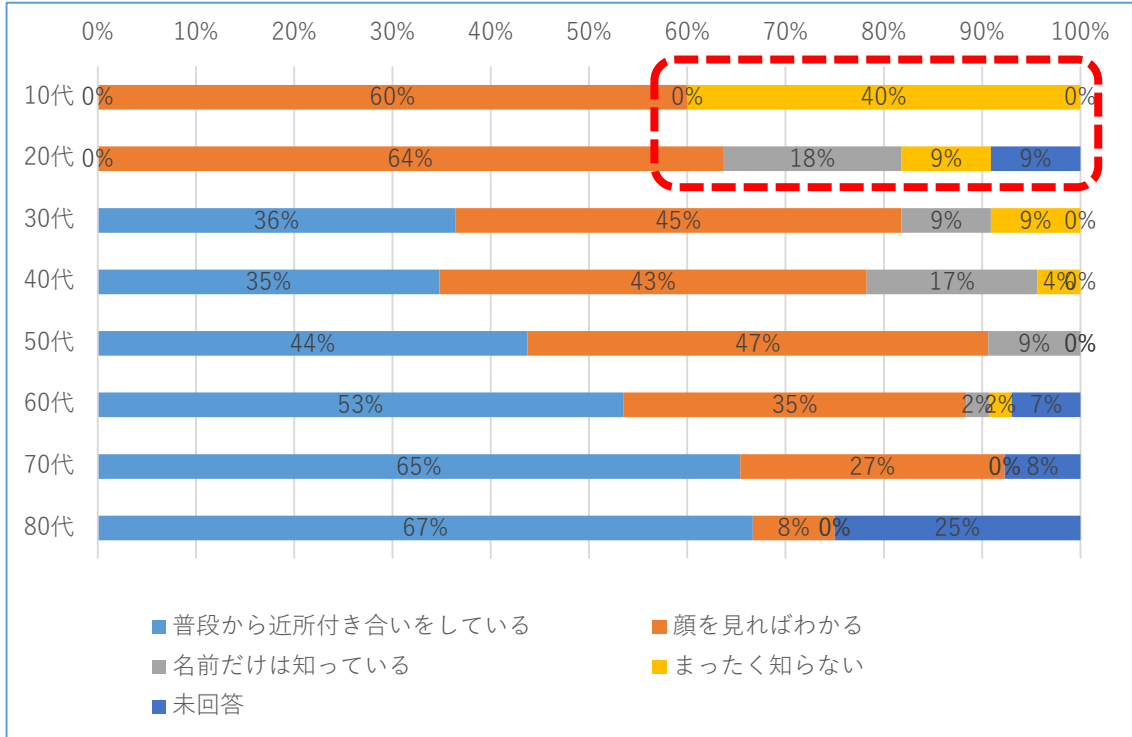
➡ 年代が上がるごとに、普段からの近所付き合いをしている割合が高くなっている

近所付き合いを大事にしている

アンケート結果から見えるポイント②（災害への備え）

Q.災害時には隣近所の助けが必要になる場合がありますが、あなたは隣近所の方について、どの程度知っていますか。

年齢別回答割合

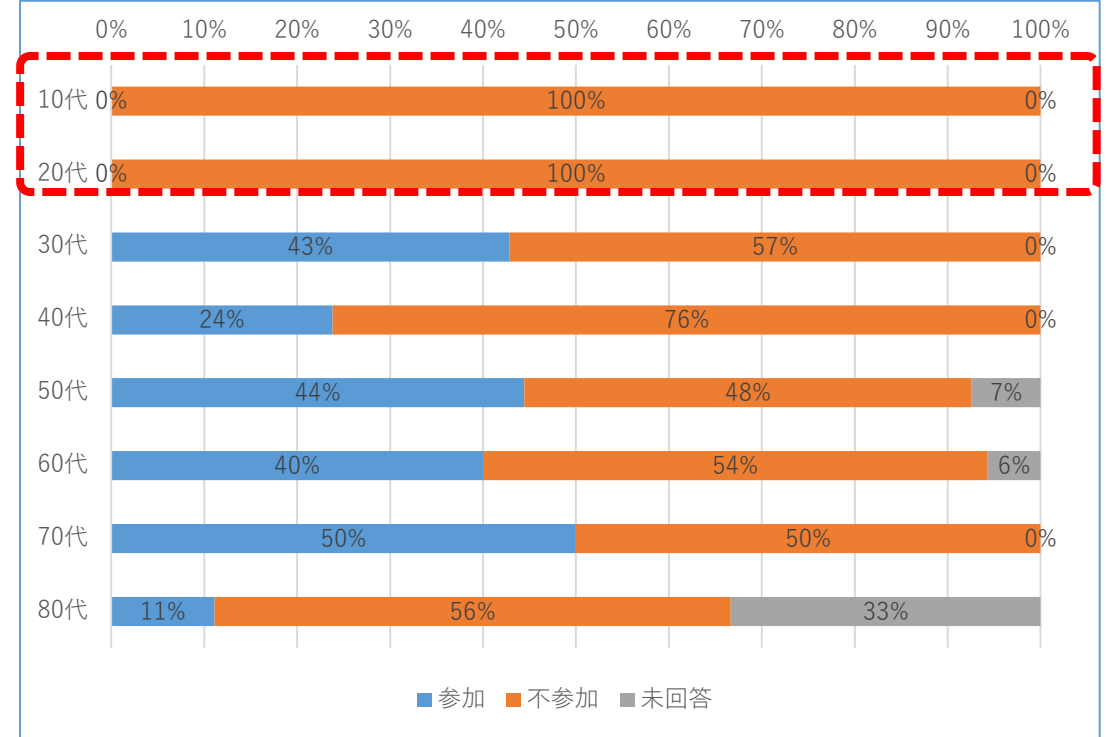


- ▼ 普段から近所付き合いをしている割合は**0%**
- ▼ 名前だけは知っている、まったく知らないなどを合わせると35%以上！

➡ あまり地域に参画できていない？

Q.地域の自主防災訓練に参加していますか。
(橋場、小赤沢、山津田行政区にお住まいの方のみ)

年齢別回答割合



- ▼ 防災訓練の参加率も**0%**（不参加が100%）

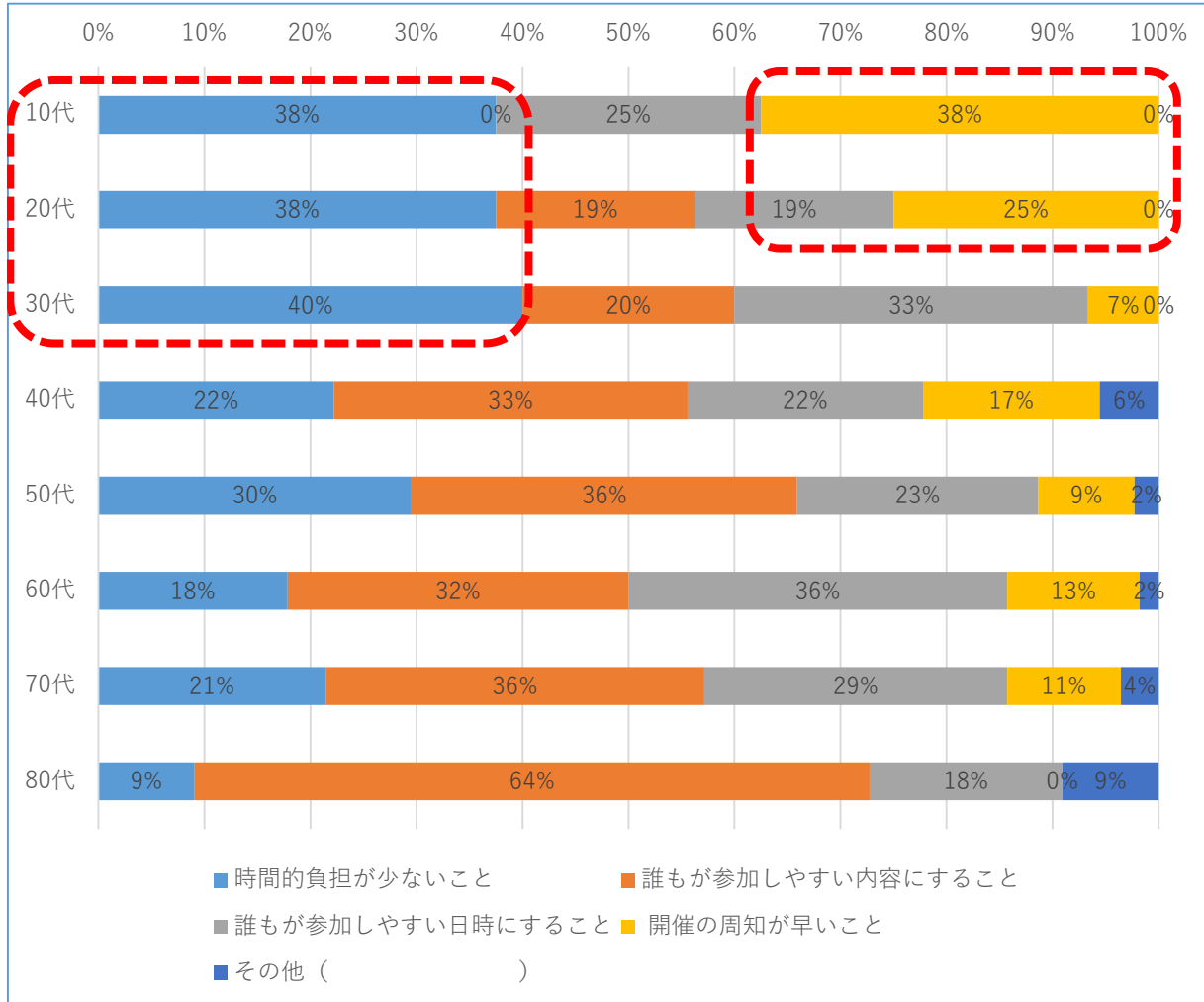
➡ 地域の中で役割がない？

10代、20代へのアプローチが課題

アンケート結果から見えるポイント②（災害への備え）

Q.地域の自主防災活動(避難訓練等)により参加しやすくするためにはどうすればいいと思いますか。【複数回答】

年齢別回答割合



▼防災訓練に参加しやすくするにはの問いに、**時間的負担が少ないこと**がトップに！

▼一方で、開催の周知の早さが2番目選ばれた！

➡ **多忙だが、できれば参加したい？**

少しの時間でもできること

橋場小学校が閉校してから4地区で集まれなくなった。
顔が見えなくなりつつある。**若い世代の交流の場**もない。
なにかできればいいけど。

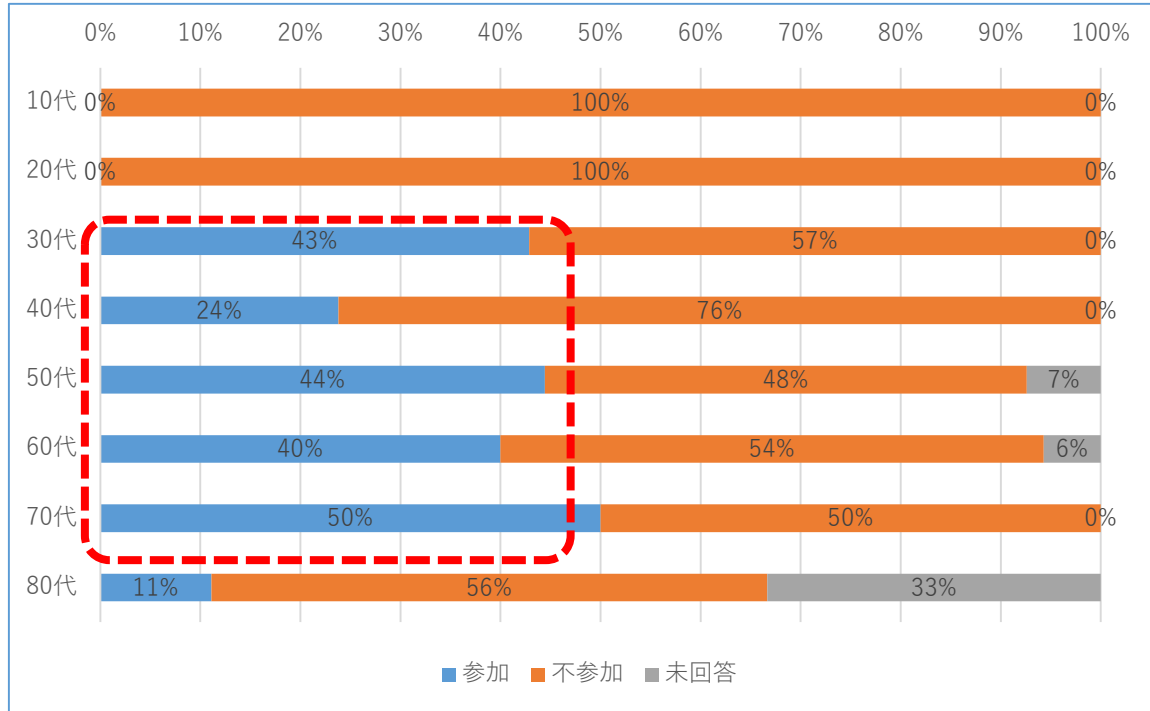
[R2年2月26日 区長会議]

若い世代の交流の場

アンケート結果から見えるポイント②（災害への備え）

Q.地域の自主防災訓練に参加していますか。
（橋場、小赤沢、山津田行政区にお住まいの方のみ）

年齢別回答割合



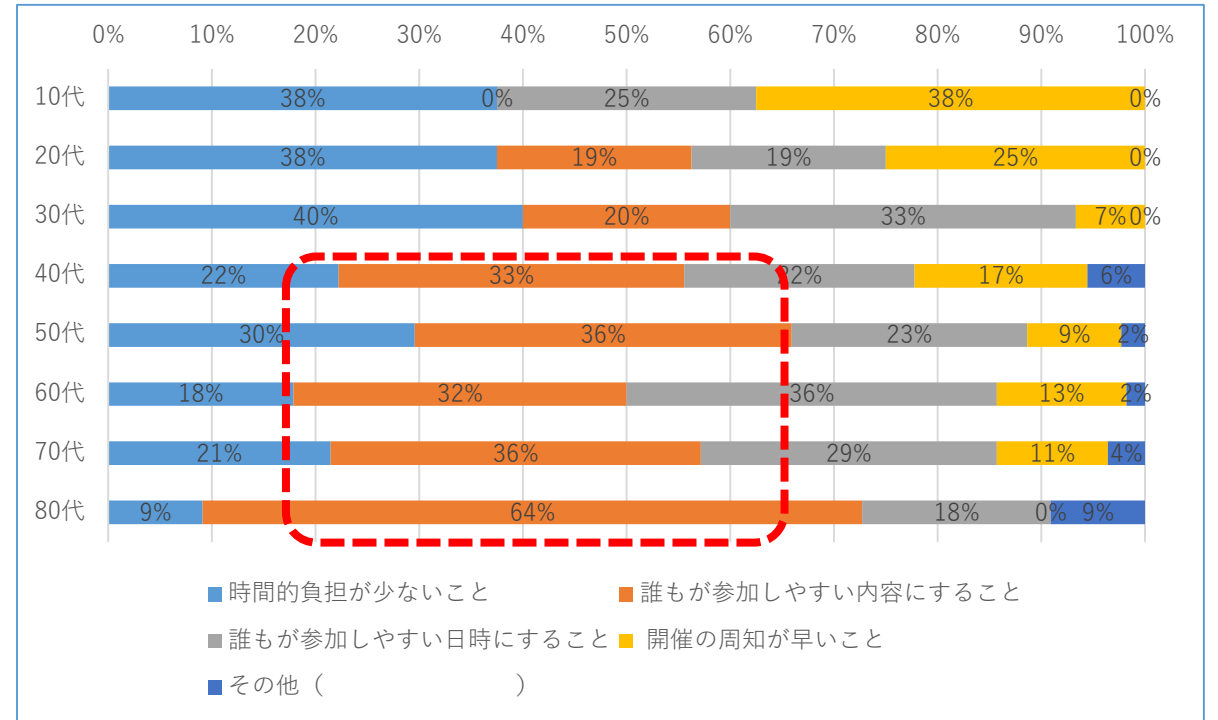
▼自主防災訓練に主に参加しているのは30～70代！
（橋場、小赤沢、山津田行政区にお住まいの方）

➡ 普段から近所付き合いをしている世代（30-70代）が、防災訓練の主な参加者！

普段からの近所付き合いが、防災訓練参加率に寄与

Q.地域の自主防災活動(避難訓練等)により参加しやすくするためにはどうすればいいと思いますか。【複数回答】

年齢別回答割合



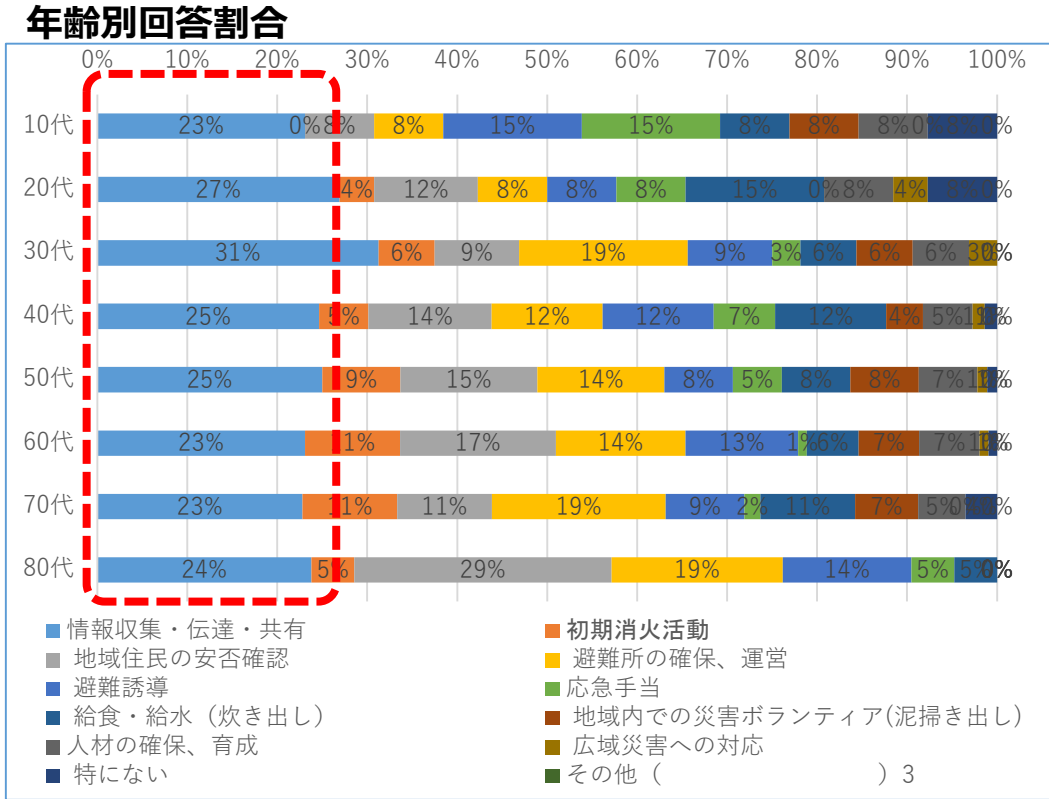
▼40～80代の方は、**誰もが参加しやすい内容**を選択！

➡ 防災訓練に主に参加している世代は、誰もが参加しやすい訓練内容を求めている！

誰もが出来ること訓練内容

アンケート結果から見えるポイント②（災害への備え）

Q.地域の自主防災組織として必要だと思う活動を教えてください。【複数回答】



▼多くの年代で「情報収集・伝達・共有」が一番多く選択された！

「情報収集・伝達・共有」が最も必要な活動とされた一方、家族での安否確認方法は決まっていない人が多い！

Q.災害時の家族との安否確認方法を決めていますか。

	回答数	割合
集合場所を決めている	8	5%
災害時の連絡先を決めている	25	15%
災害用伝言ダイヤルを利用する	7	4%
決めていない	110	67%
その他	2	1%
未回答	12	7%
合計	164	

▼家族との安否確認の方法を決めていない人が**65%以上**！

▼安栖行政区

独居の高齢者がいる。見守りなども気がり。

[R2年2月26日 区長会議]

➡ **独居の高齢者の安否確認は誰がする？**

民生委員として橋場と安栖の2つの集落の担当だが、もう一度、見守りを確認しなければいけないと思った。

[R2年2月26日 区長会議]

➡ **地域全体を見る、民生委員の負担は大きい・・・**

アンケート結果から見えるポイント③（災害時にとれる行動）

Q.地域で大規模な災害が発生し、住民同士の助け合いが必要になった場合、あなたなら何ができると思いますか。【複数回答】

	救助活動	安否確認作業	消火活動	身体の不自由な方や高齢者のケア	負傷者のケア	自宅スペースの提供	食料・備蓄の提供	何もできないと思う	その他	合計
10代	2	2	0	1	1	1	0	2	1	10
20代	4	5	1	1	1	1	0	3	1	17
30代	6	5	2	6	3	2	0	2	0	26
40代	7	10	6	3	3	6	4	6	0	45
50代	9	16	5	7	1	8	3	9	1	59
60代	21	23	8	10	1	2	6	5	1	77
70代	8	10	3	5	2	4	6	8	0	46
80代	0	1	0	2	0	1	1	6	0	11
総計	57	72	25	35	12	25	20	41	4	291

▼災害時、自分は何ができるかの問いに、多くの世代で安否確認作業が最も選ばれた。

➡ 地域の自主防災組織として必要だと思う活動として「情報収集・伝達・共有」が最も多かった

安否確認をみんなで！

▼20～30代と60代は救助活動も多数を占めた。

▼30代では身体の不自由な方や高齢者のケアが多数を占めた。

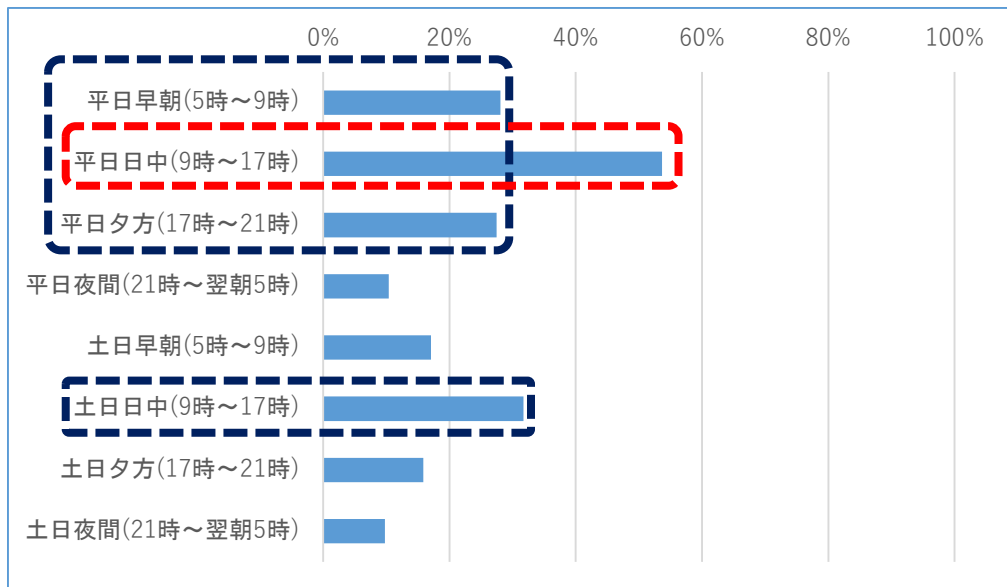
➡ ケアをできる人材がいる！

➡ 一方で、80代では「何もできないと思う」が半数以上！

アンケート結果から見えるポイント③（災害時にとれる行動）

Q. あなたが仕事や学業等で地域から不在になる時間を教えてください。【複数回答】

時間別回答割合



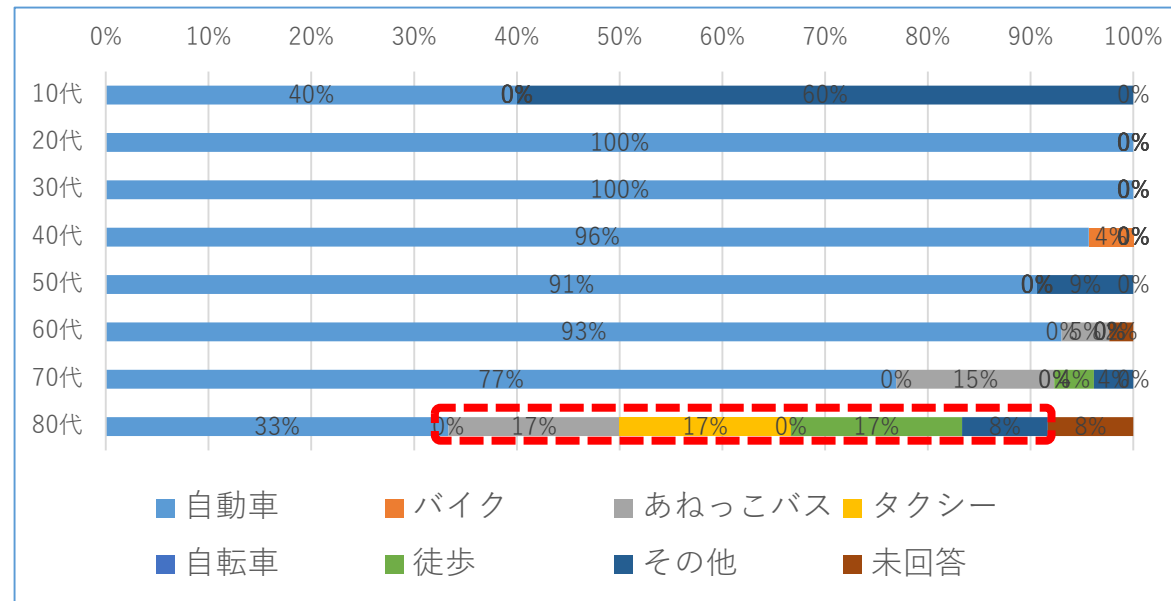
▼平日日中は50%以上の人が地域から居なくなる。10～30代は80%以上不在。40代～60代も50%以上が不在。

➡ 助ける事ができる人が最も少ない時間帯

平日日中は、地域内の人が最も少ない！

Q. 日常の主な交通手段

年齢別回答割合



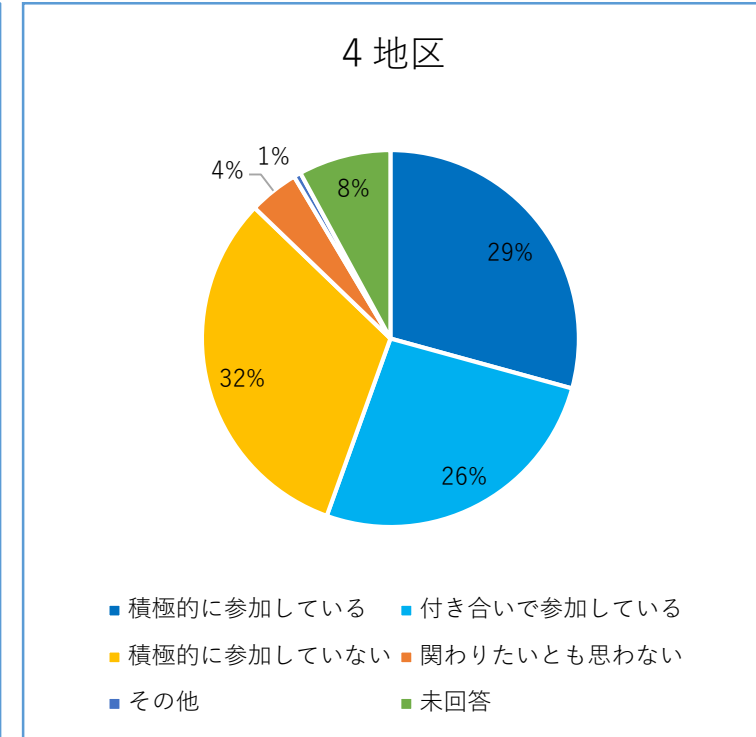
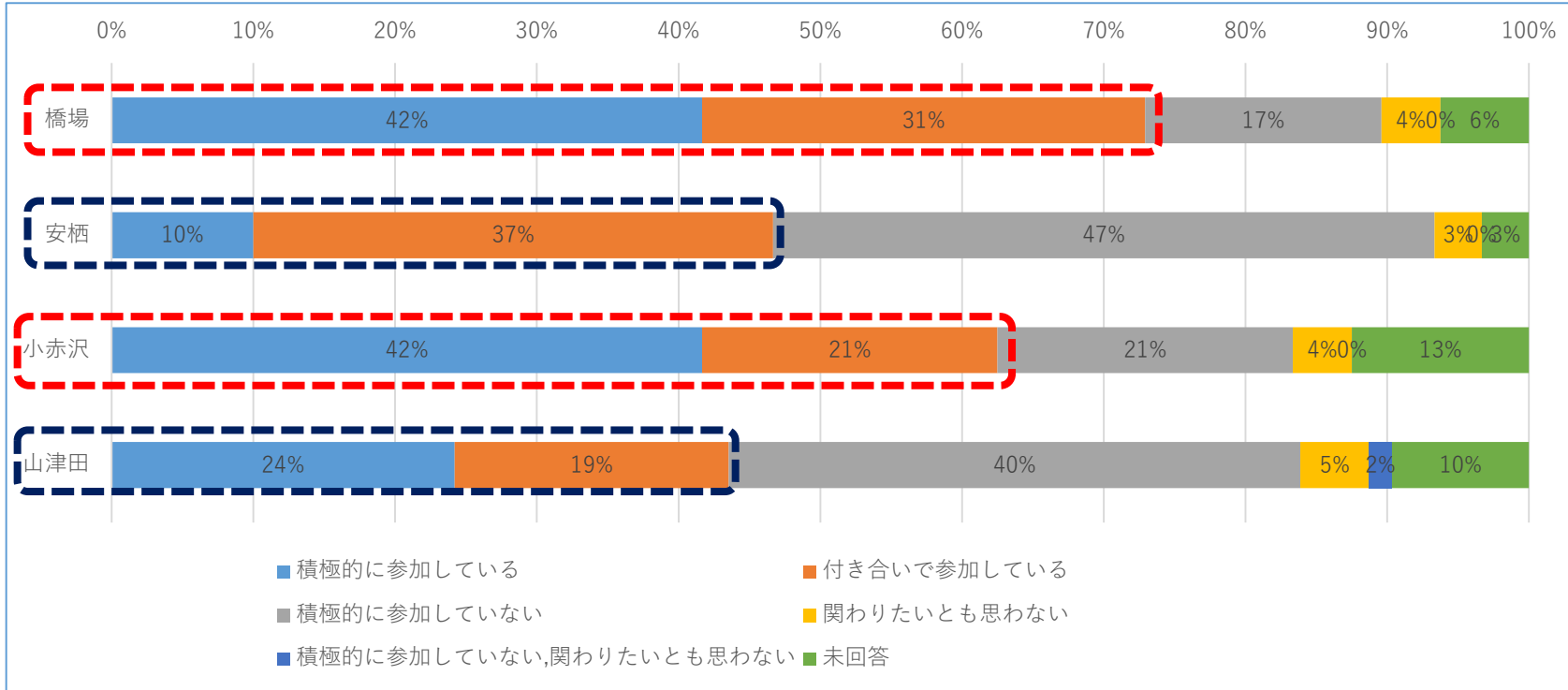
➡ 80代では、「あねっこバス、タクシー、徒歩」等、自動車以外の移動手段に頼っている人が50%以上！

平日日中に災害が起きた時、高齢者の移動がネックになる。
[R2年2月26日 区長会議]

乗り合いでの移動の仕方を訓練できれば。ただし、事故等懸念事項の整理が必要。
[R2年2月26日 区長会議]

アンケート結果から見えるポイント④（地域活動について）

Q. あなたは地域活動に参加していますか



▼地域活動への参加率は4地区とも約5割を超える！

▼橋場、小赤沢行政区は関心の有無に関わらず、参加している割合が60%以上！

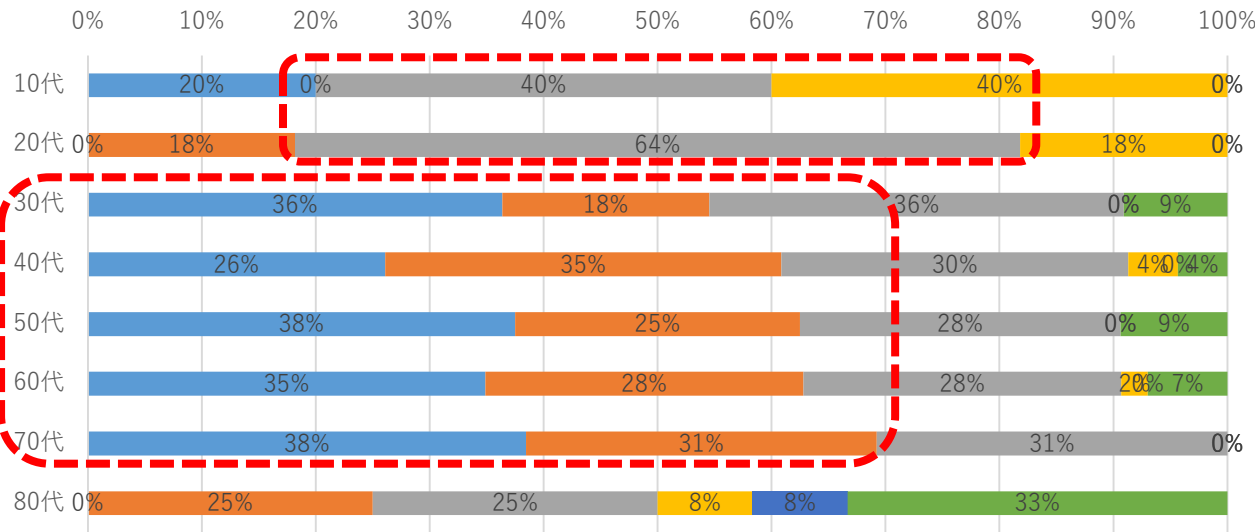
➡ 日頃から顔を合わせる機会がある！

▼安栖行政区は参加しているうちのほとんどが「付き合いで参加」

地域の活動に対して、無関心ではない！

アンケート結果から見えるポイント④（地域活動について）

Q. あなたは地域活動に参加していますか(年代別)



- 積極的に参加している
- 積極的に参加していない
- 積極的に参加していない, 関わりたいと思わない
- 付き合いで参加している
- 関わりたいと思わない
- 未回答

▼ 30代～70代は約60%が参加!

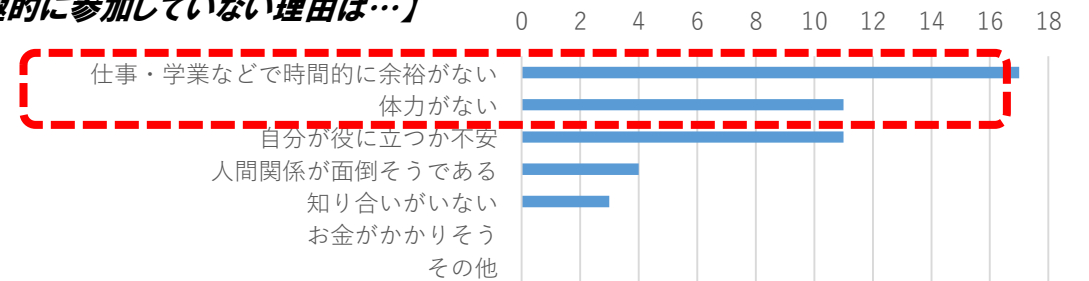
▼ 10代、20代は20%が参加

➡ **30代～70代が地域活動を支えている!**

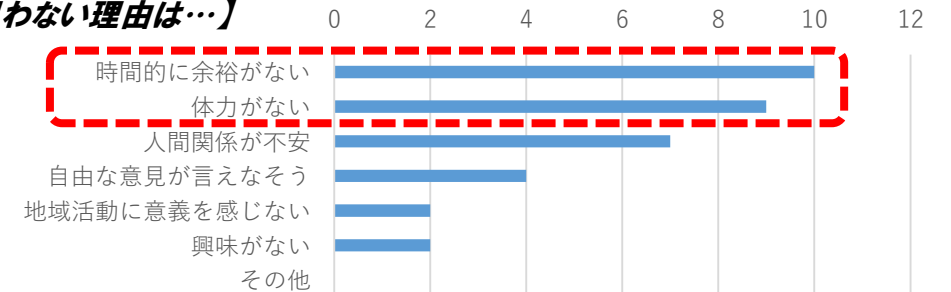
▼ 参加していない方々は全体の44%

➡ 参加していない理由を探ることが大事!

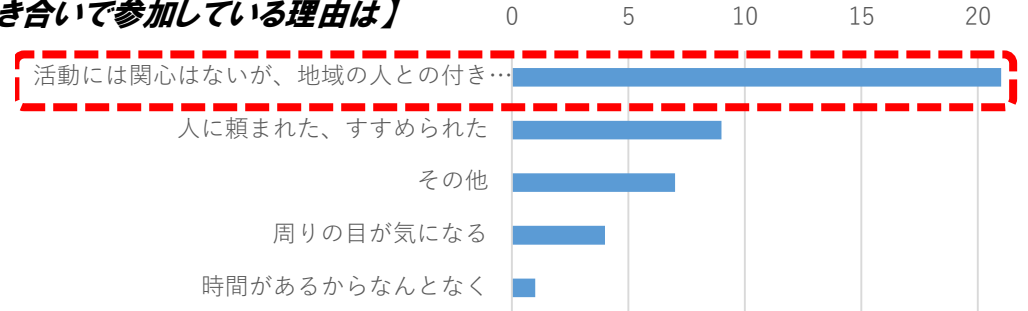
【積極的に参加していない理由は…】



【関わりたいと思わない理由は…】



【付き合いで参加している理由は】



▼ 参加できない理由を探ってみると…

学業や仕事で時間に余裕がない・体力がない

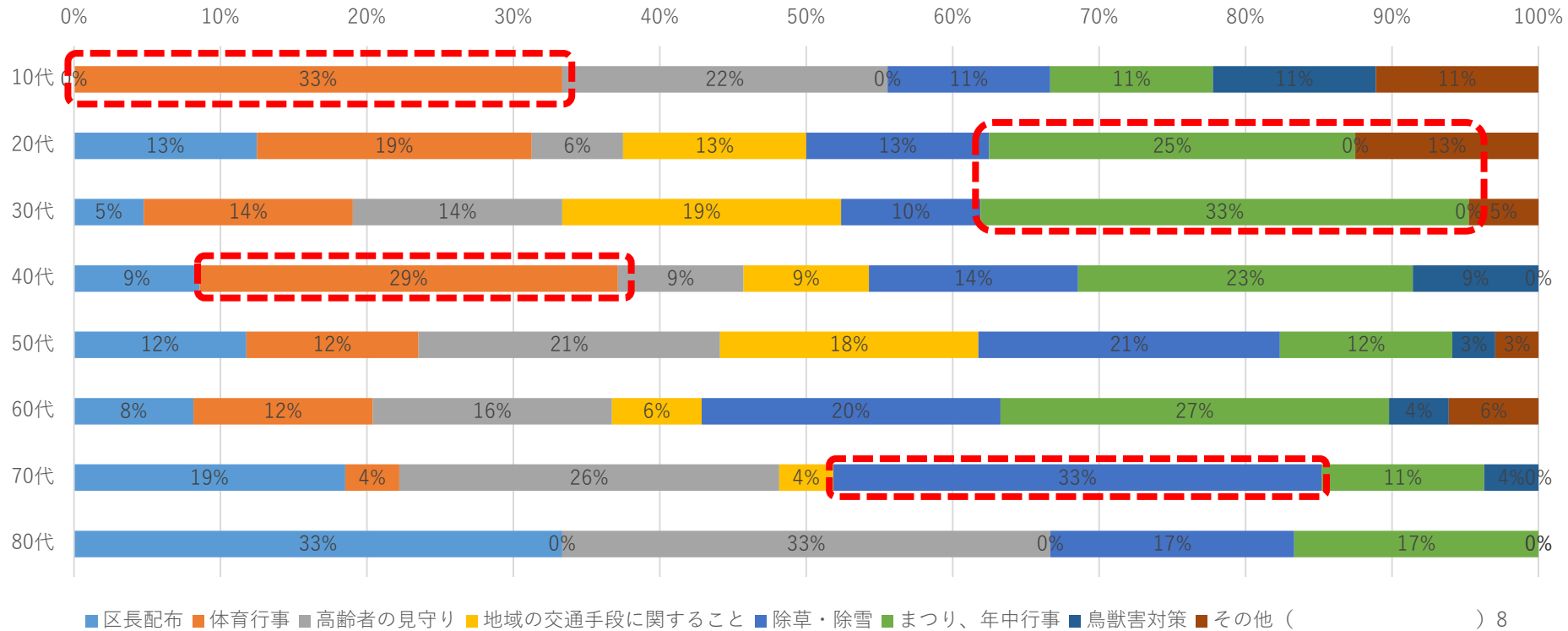
▼ 付き合いで参加している理由は…

地域との付き合いは大事にしたい

➡ 「地域活動に参加していない」 = 「関心がない」ではない

アンケート結果から見えるポイント④（地域活動について）

Q. 防災以外に4地区で連携・交流できそうなことはありますか？(年代別)



最も多いもの

- 10代: 体育行事
- 20代: まつり・年中行事
- 30代: まつり・年中行事
- 40代: 体育行事
- 50代: 高齢者の見守り、除草除雪
- 60代: まつり・年中行事
- 70代: 除草・除雪
- 80代: 区長配布、高齢者の見守り

▼10代・40代は体育行事（40代は体育行事の中心世代）

20代・30代・60代はまつり・年中行事

50代は高齢者の見守り・除草・除雪

70代は除草・除雪（70代を越えてくると除草・除雪作業はゆるくない）

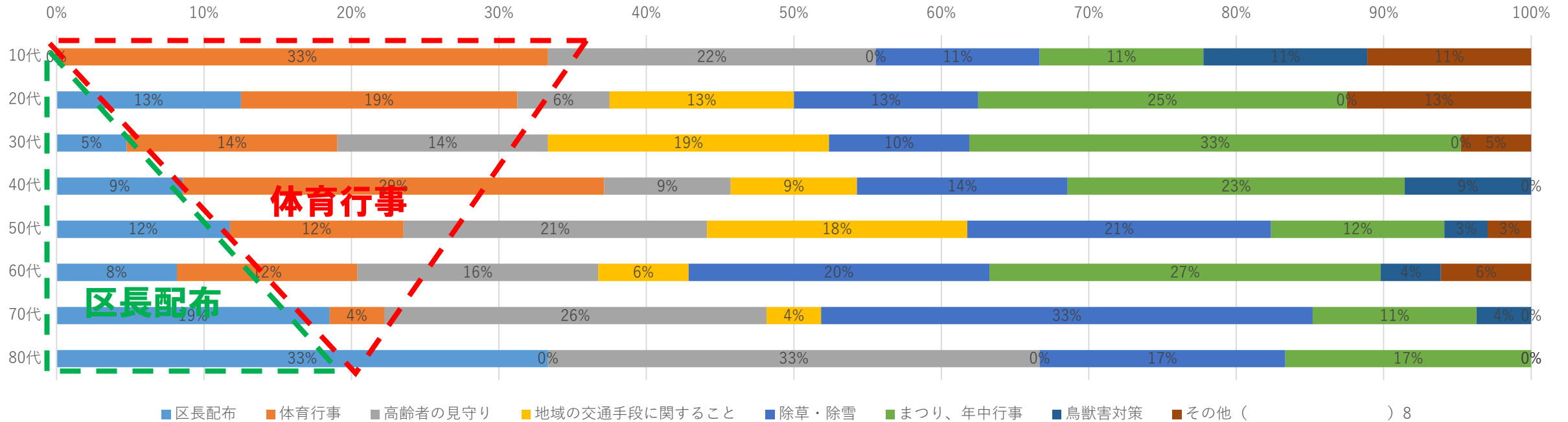
80代は区長配布・高齢者の見守り（80代以上でも区長が回ってくる = 高齢では難しい）

年代によってやりたいことも異なる。
[R2年2月26日 区長会議]

➡ 年代によって、最も連携・交流できそうなことはちがう！

アンケート結果から見えるポイント④（地域活動について）

Q. 防災以外に4地区で連携・交流できそうなことはありますか？（年代別）



▼ 体育行事で連携できると思っている割合は
10代33%、20代19%、40代29%と若い世代で割合が高くなっている

➡ 若い世代は楽しいことで交流し、まずは地域の方々を知るところから

若い世代は体育行事を上
の世代は区長配布での連携を求めている！

▼ 区長配布で連携できると思っている割合は
80代33%、70代19%、50代12%と上の世代で割合が高くなっている

➡ 区長は40代以上の世帯主が務めることが多く、上の世代ほど負担を感じている。

まずはできるところから一緒にやってみましょう！